日米

THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT
650 ELLIS STREET
SAN FRANCISCO CALIFORNIA
PHONE PROSPECT 236
REGISTERED AT S. F. POST OFFICE
AS SECOND CLASS MATTER
K. A'NKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES IN ADVANCE
DAILY.....ONE YEAR..... $11.00
DAILY.....SIX MONTHS..... 5.50
DAILY.....ONE MONTH 1.00
SINGLE COPIES ..... 5 CENTS

劃期的中學改善案

日本の青年の爲め福音

◇

近者日本新聞の傳ふる處に依ると我が文部省は其多年の研究に依つて中學改善案を得て究に依つて中學改善案を得て近く之れを實施すべく、昨今輿論を聞いているやうである汗ふ

新中學校令によると、中學に五年制（尋常小學より連絡）三年制（高等小學より連絡）及び五年制の三種を設けて、且その各科課程を改正して、學科に必修科目と選擇科目との別を置き、五年制中學の科目としては毎年以上の生徒を第一部、第二部の二班に分ち、第一部は主として、實際的教養を欲するものに便にし、第二部は主として一般的教養を受けんとする者に適せしめんとする

もの、要求に應ぜしめんとするものにして廢するも、爲に、選擇科目は兩部に共通して學ばしむるも、選擇科目は兩部各別にこれを選修せしむることなく、大體中學校止りのものに適するもの、實際的教養を與へんとするもの、第一部の特色にし、中學より更に上級の學校に進まんとするものの爲に、一般的教養を授けるのが第二部の本旨とする處である

◇

五年制（尋常小學より連絡）及び五年制の後期中學の三種を設けて、且その各科課程を改正して、學科に必修科目と選擇科目との別を置き、五年制中學の科目としては毎年以上の生徒を第一部、第二部の二班に分ち、第一部は主として、實際的教養を欲するものに便にし、第二部は主として一般的教養を受けんとする者に適せしめんとする

もの、要求に應ぜしめんとするものにして廢するも、爲に、選擇科目は兩部に共通して學ばしむるも、選擇科目は兩部各別にこれを選修せしむることなく、大體中學校止りのものに適するもの、實際的教養を與へんとするもの、第一部の特色にし、中學より更に上級の學校に進まんとするものの爲に、一般的教養を授けるのが第二部の本旨とする處である

◇

三年制中學にても、生徒の目的により、選擇科目を右五年制中學と同樣に、實際的教養と、一般的教養との別に應じて、各別に選修することを得るやうに學科を配列し、更に夜間中學は晝間職業に從事しながら、中學校教育を受けん志望するものの爲に、これが機會を與へんとする趣旨に依り、これを別種の中學校と看做すことなく、普通の中學校と同等の資格を附し、唯學科課程に斟酌を加へ、且その修學年限を六年に延長することを認めたる點とのみ、晝間と異なるものである

◇

この改善案は大體に於いて大進歩である。我國積年の弊害たる劃一主義をも目すべき中學の準備たらしむるを止めたことは、一種のものを創めたこと、高等小學に學んだものを中學校と連絡せしめた點、又學科を實用編にした點、又夜間にも同中學校を設け、中學校を卒へる得る機會を與へたこと、依て貧家の青年の前にも門戸を開いた點であつて、我國の教育設備をして、有產階級のみに占せしむることなく、學ばんとする青年をして、隨時に研學の途を立てたことは實に大進歩にては、過少なるを感ずる、等なるも、これを米國に於て、貧乏孤兒のフーバー氏が自動的に、中學も選擇科目として英語を課する事は相當の時間を設けるを以て、賢明さしないではなからうか、何れにしても新中學校令は大進歩さして我等は賞讃するに躊躇しない

◇

また新法の改正には從來見たのである。

◇

如く中學を單に上級學校入學の準備たらしむるを止めたこと、英語や數學は、五年制では、英語を一年延長、數學を三年まで必修科目とし、三年制では、一學年のみの必修とした、然るに、英語の學修時間の著しく減ぜられたことは、其だ問題である、五年制では二時間乃至五時間とし、三年制では三時間乃至十時間とし、從來中學で、英語の學修時間の減ぜられながら、英語の學修時間の

布哇少年誘拐慘殺事件の犯人福永青年はどんな男か

父は山口縣出身で二男五女の長男

福永青年は全然無宗教

世界の耳目を聳動せしめた布哇のギル少年誘拐慘殺事件の犯人福永寛（慶は誤り）は如何にして斯かる大罪を犯すに至つたか　父親が如何なる身分の青年であるかは一般の知らんとする處であつたが、昨日ホノルルから接受した消息によつて、之を仔細に知ることが出來た。以下之れを詳報する事とする

ハワイ全島の人心を震撼せしめた恐怖の極度に達せしめたギル少年誘拐慘殺事件の眞犯人福永寛（ヒロシ）は本日午後三時ホノルルに到着したが、この青年であるか否かは親く寛青年の父福永十介夫妻に「寛は氣の弱い方だから、そんなことをしたかゞ疑問をかけられるのが殘念で」と老いの兩眼に涙をうかべながら語るのであつた。ワイアルア官立學校を卒業したのが一九二五年にて、その時の成績は最優等の一番であつた。日本語學校の高等科に在學したが、大正學校の高等科に進學して補習科に在學したが、中途退學をなした「日本學校のあるべき筈」でないと病氣になるから」と母親の感慨は尤も深くもありませんでした」と妻女がちよつと代つて語る

「官立學校を卒業してからハイ、なのです。シー、サイド、ホテルに入つてからは、ホテルに働くやうになつたと云つてゐました。クヰン病院にゐた時は、仕事には自信を持つてゐました。ホテルでもまるやうになり、一週間に一度家に歸つて來ました。土曜日のみで夜の八時から九時の間に歸つて墓地に行き、夕飯は病院で食べて、へつて行きました」

犯人寛は加哇島マガヴエリで出生

父は來布後三十年の古老

まづ寛青年の家庭のことから書けば、父親を福永十介と呼び原籍は山口縣玖珂郡愛宕村でのる妻女との間に二男五女があるが即ち次ぎのごとし

長男　寛（二十才）
長女特に名をかくす（十七才）
次女（十四才）
三女（十才）
四女（九才）
五女（六才）
次男（五才）

福永十介は明治二十九年に來布し布哇にはもう三十年以上になりますと語つたが、寛青年は明治四十二年二月四日加哇島マカヴエリで出生した。しかして福永一家はマカヴエリよりカパアに轉住し　さらに當島にきたりハレイワの上方瀧山キャンプに住まつた。それよりホノルルに出たのであるが最初二ケ月パラマに暮り現在の處に來て、丸三年近くになる

ワイアルア公立學校を最優等で卒業

ハイスクールに入學を熱望せるも家計が許さず

當時十歳だつた寛青年はカワイ島カパアの官立學校に通つてゐたが非常に出來がよかつたので一巡査をたのんで登校せしめた處

大變に巡査を恐れ、それより毎日登校するやうになつたが成績がだん〳〵よくなつて行き、うまれ變つたやうに學問がすきになりました。と思出には二年餘りるましたが

スクールにゆきたがつてゐましたが、何しろ家がまづしいので家のころによると、散髪および圖書館に行く以外には殆ど外出せず、あそこに働いてゐる人の語るところによると、寛青年は「その小使ひだけひいて兩親に渡つてゐるとのことである。友人は少いらしく青年の宅を訪ふ友人らしい青年は殆どないと云つてゐる。家では仕事から歸つてアメリカからの通信教授を一生懸命にやつてゐるが、病氣になつてからはその通信教授もやめたらしい」

月給を貰ふと、自分の

「出府してから暫らく私はセメントの仕事をしてゐましたが、世話する人があつてクヰン病院附屬野菜畑の仕事口をもらひました」と父親はかたる「その關係上寛にもクヰン病院の仕事をもらつてやりました。最初病室の掃除をしそれからストーアルームの整理、さらにエレベーターボーイ次に一等ルームの給仕と一等ルームの給仕で、それなりお前の月給をキープして學資にせようといふと、五月からは一文も金をもつて歸らなかつたのである。父親による歸途に就いたのは二十日ごろ、家は眞宗だが、青年は別に二日の午後五時半少し過ぎであつたが、自動車がベレタニヤの繁華なる通りにさしかゝつた所で、ボーイが、今度のやうな嫌疑をかけられやうとは殘念で仕方ない」といふ老父の聲聲を聞いたのであつた。

大抵の場合家に居て本ばかりを耽讀

シー、サイドホテルへ働く

「一ケ月あまり自宅で治療する五時すぎ家に歸るのがつねでしたが、寛は病氣の力も快方にむかひ、六月二十日ごろよりワイキキ、シー、サイド、ホテルに働くやうになりました。仕事は果物の係でなかつたのである。父親による歸途に就いたのは二十日ごろ、家は眞宗だが、青年は別に二日の午後五時半少し過ぎであつたが、自動車がベレタニヤの繁華なる通りにさしかゝつた所で、ボーイが、今度のやうな嫌疑をかけられやうとは殘念で仕方ない」といふ老父の聲聲を聞いたのであつた。

他の旅館に働くやうになつたと云つてゐました。

ホテルにゐた時は、仕事には自信を持つてゐました。クヰン病院にゐた時は、仕事には自信を持つてゐました。シー、サイド、ホテルに働くやうになつたと云つてゐました。

注意したのも一再ではなかつた。

シー、サイド、ホテルに働くやうになつてからも、「あんな、おとなしい、今度のやうな嫌疑をかけられやうとは殘念で仕方ない」といふ老父の聲聲を聞いたのであつた。

寛青年は無宗教

教會にも顔出さなかつた

四月病氣になつてから、療養のため病院のかゝりやめました。醫師に診察してもらふと心臓がわるくつたといふ。「あんな、おとなしい、今度のやうな嫌疑をかけられやうとは殘念で仕方ない」といふ老父の聲聲を聞いたのであつた。

犯人福永寛

一二年間就働

今春來仕事を止めた

【出府してから暫らく私はセメントの仕事をしてゐましたが、世話する人があつてクヰン病院附屬野菜畑の仕事口をもらひました」と父親はかたる「その關係上寛にもクヰン病院の仕事をもらつてやりました。最初病室の掃除をしそれからストーアルームの整理、さらにエレベーターボーイ次に一等ルームの給仕と一等ルームの給仕で、それなりお前の月給をキープして學資にせようといふと、五月からは一文も金をもつて歸らなかつたのである。父親による歸途に就いたのは二十日ごろ、家は眞宗だが、青年は別に二日の午後五時半少し過ぎであつたが、自動車がベレタニヤの繁華なる通りにさしかゝつた所で、ボーイが、今度のやうな嫌疑をかけられやうとは殘念で仕方ない」といふ老父の聲聲を聞いたのであつた。

犯人寛は加哇島マガヴエリで出生

父は來布後三十年の古老

まづ寛青年の家庭のことから書けば、父親を福永十介と呼び原籍は山口縣玖珂郡愛宕村でのる妻女との間に二男五女があるが即ち次ぎのごとし

長男　寛（二十才）
長女特に名をかくす（十七才）
次女（十四才）
三女（十才）
四女（九才）
五女（六才）
次男（五才）

福永十介は明治二十九年に來布し布哇にはもう三十年以上になりますと語つたが、寛青年は明治四十二年二月四日加哇島マカヴエリで出生した。しかして福永一家はマカヴエリよりカパアに轉住し　さらに當島にきたりハレイワの上方瀧山キャンプに住まつた。それよりホノルルに出たのであるが最初二ケ月パラマに暮り現在の處に來て、丸三年近くになる

ワイアルア公立學校を最優等で卒業

ハイスクールに入學を熱望せるも家計が許さず

當時十歳だつた寛青年はカワイ島カパアの官立學校に通つてゐたが非常に出來がよかつたので一巡査をたのんで登校せしめた處

大變に巡査を恐れ、それより毎日登校するやうになつたが成績がだん〳〵よくなつて行き、うまれ變つたやうに學問がすきになりました。と思出には二年餘りるましたが

スクールにゆきたがつてゐましたが、何しろ家がまづしいので家のころによると、散髪および圖書館に行く以外には殆ど外出せず、あそこに働いてゐる人の語るところによると、寛青年は「その小使ひだけひいて兩親に渡つてゐるとのことである。友人は少いらしく青年の宅を訪ふ友人らしい青年は殆どないと云つてゐる。家では仕事から歸つてアメリカからの通信教授を一生懸命にやつてゐるが、病氣になつてからはその通信教授もやめたらしい」

月給を貰ふと、自分の

「出府してから暫らく私はセメントの仕事をしてゐましたが、世話する人があつてクヰン病院附屬野菜畑の仕事口をもらひました」と父親はかたる「その關係上寛にもクヰン病院の仕事をもらつてやりました。最初病室の掃除をしそれからストーアルームの整理、さらにエレベーターボーイ次に一等ルームの給仕と一等ルームの給仕で、それなりお前の月給をキープして學資にせようといふと、五月からは一文も金をもつて歸らなかつたのである。父親による歸途に就いたのは二十日ごろ、家は眞宗だが、青年は別に二日の午後五時半少し過ぎであつたが、自動車がベレタニヤの繁華なる通りにさしかゝつた所で、ボーイが、今度のやうな嫌疑をかけられやうとは殘念で仕方ない」といふ老父の聲聲を聞いたのであつた。

大抵の場合家に居て本ばかりを耽讀

シー、サイドホテルへ働く

「一ケ月あまり自宅で治療する五時すぎ家に歸るのがつねでしたが、寛は病氣の力も快方にむかひ、六月二十日ごろよりワイキキ、シー、サイド、ホテルに働くやうになりました。仕事は果物の係でなかつたのである。父親による歸途に就いたのは二十日ごろ、家は眞宗だが、青年は別に二日の午後五時半少し過ぎであつたが、自動車がベレタニヤの繁華なる通りにさしかゝつた所で、ボーイが、今度のやうな嫌疑をかけられやうとは殘念で仕方ない」といふ老父の聲聲を聞いたのであつた。

他の旅館に働くやうになつたと云つてゐました。

ホテルにゐた時は、仕事には自信を持つてゐました。クヰン病院にゐた時は、仕事には自信を持つてゐました。シー、サイド、ホテルに働くやうになつたと云つてゐました。

注意したのも一再ではなかつた。

シー、サイド、ホテルに働くやうになつてからも、「あんな、おとなしい、今度のやうな嫌疑をかけられやうとは殘念で仕方ない」といふ老父の聲聲を聞いたのであつた。

寛青年は無宗教

教會にも顔出さなかつた

四月病氣になつてから、療養のため病院のかゝりやめました。醫師に診察してもらふと心臓がわるくつたといふ。「あんな、おとなしい、今度のやうな嫌疑をかけられやうとは殘念で仕方ない」といふ老父の聲聲を聞いたのであつた。

犯人福永寛

一二年間就働

今春來仕事を止めた

【出府してから暫らく私はセメントの仕事をしてゐましたが、世話する人があつてクヰン病院附屬野菜畑の仕事口をもらひました」と父親はかたる「その關係上寛にもクヰン病院の仕事をもらつてやりました。最初病室の掃除をしそれからストーアルームの整理、さらにエレベーターボーイ次に一等ルームの給仕と一等ルームの給仕で、それなりお前の月給をキープして學資にせようといふと、五月からは一文も金をもつて歸ら

在米基教徒獻上の聖書奉呈式執行

來着を待ち當市で開催　美裝した御大典記念品

秩父宮殿下には既に奉呈

在米日本人基督教徒より御大典記念獻上品として奉呈する聖書は目下特別註文のもとに日本において製作中であるが近く完成し來着のことになつてゐるといふ、なほこの聖書は日本字で印刷されたもので皮には國務長官の代理として國務省の極東課長である國務次官チルソン・ジョンソン氏および極東課よりカルドウエルシバランチンの兩氏の外日本大使館よりは澤田參事官以下が一行を出迎へたりまた國務省差廻しの自動車で護衛巡査を先頭にホテル・メーフラワーに投宿したが、二十七日午後三時半に澤田參事官主催の日本食晩餐會に赴き二十八日午前十時には澤田參事官の先導で大統領クーリッヂ氏を公式に訪問して敬意を表すべく二十八日夕はメーフラワーにおける大使館主催の晩餐會に列席、國務長官クロッグ氏、大藏長官メローン氏、檢事總長サージェント氏その他官界の有力者等も招待を受けてゐるが、しかして内田伯の渡米使命に關し國務省としては何等公式に關知してゐないが既に田中首相は

不戰條約の締結は平和確保の第一歩

十七年振りに米國へ　内田伯着米談

（報育特信二十九日）内閣の人事異動の為め内田伯の一行は予定より一日遅れ二十七日午後三時半ニューヨークに着したこの日ユニオン停車場に到着したる國務長官の代理として國務省の極東課長である國務次官チルソン・ジョンソン氏および極東課よりカルドウエルシバランチンの兩氏の外日本大使館よりは澤田參事官以下が一行を出迎へたりまた國務省差廻しの自動車で護衛巡査を先頭にホテル・メーフラワーに投宿したが、二十七日夕は大使官邸に澤田參事官主催の日本食晩餐會に赴き二十八日午前十時には澤田參事官の先導で大統領クーリッヂ氏を公式に訪問して敬意を表すべく二十八日夕はメーフラワーにおける大使館主催の晩餐會に列席、國務長官クロッグ氏、大藏長官メローン氏、檢事總長サージェント氏その他官界の有力者等も招待を受けてゐるが、しかして内田伯の渡米使命に關し國務省としては何等公式に關知してゐないが既に田中首相は

桑港牧師會で ハワイ事件を研究

役員の改選と青年大會に對する希望等討議

桑港灣牧師會は去る一日當市に來たる八日ファラゲにおける牧師會の席上において再び研究しそれまでに材料を蒐集することとし役員の改選を行ひ散會した

▲會長　有馬牧師▲書記會計　小田牧師

なほ同夜は近く開催の深田牧師

秋期第一回の家庭の夕開催

少年部主催で明晩　父兄と母達を招待

桑港日本人會少年部火の矢組は新學期に入り會員百三十名の新陣容が整ふたのを機會に同會主催で明晩午後七時半より秋期第一回ファミリー・ナイトを開催し父兄と母たちを招待して深山のプログラムを作製し一夜を楽しく送ることゝなつたが同時に本年度の常澤主事の歓迎會と慰労をかねて日本土産話しを聞くことになつてゐるさ

プログラム

五日午後七時半、青年會館

一、歌

二、新講

齋藤園長送別會盛會

旅館組合の

桑港旅館組合主催の御大典記念祝賀會は去る日曜日午後七時半より秋期第一回の定例會を開催し明年度の新陣容を整へるため五日午後七時半より桑日ホールにおいて大集會を開催し蹴球戰組織並に今後の練習コーチの招聘、新入會者の養成各地チームとの對抗試合その他について大協議をなすことゝなつたが同時に既に本年度ピーチ硫停に付き練習者募集の件、なほ今年度の蹴球試合を行ふ方針であるといふ

桑港牧師會で ハワイ事件を研究

役員の改選と青年大會に對する希望等討議

桑港灣牧師會は去る一日當市に來たる八日ファラゲにおける牧師會の席上において再び研究しそれまでに材料を蒐集することとし役員の改選を行ひ散會した

▲會長　有馬牧師▲書記會計　小田牧師

なほ同夜は近く開催の深田牧師

時節柄注意を引く布哇倶樂部集會

來る日曜日當市に方いて福永事件も話題に上らん

桑港在住のハワイ生れ日系市民クラブは來る七日午後五時より昭和樓において晩餐會を開催し同會長代表中大學卒業者の祝賀を兼ねて新入會者歓迎會を開催するはずであるが、當日會員四十名の外非會員でハワイ生れの青年並に關係者をも招待することになつてゐるといふ

尚席上においてハワイ第二世の問題に起つた墜殺事件に對して意見の交換をするものであるが會員中に最近米国のことだが會員中に最近米国の公明なる對策につき列强はよくその目的を解してゐるし列强の對支那政策もワシントン條約で明白であるとしつゝある旨明言した。なほ本樓がワシントンの任地にあつたのは今から十年前、自由の像を港の入口から

効果

米國が日本の誠意を了解す

曾つては風船玉と綽名されたほどにはちきれ相な彈性を帶びた日用品の輸出の風潮も昨今は俄に自壊霜をいたゞく好金運ではあるが、長途の旅の疲れが稍癒やされたやうに見うけられるがそれでもの特長のある眼玉は昔そのまゝに元氣よく廻轉して問はるまいにほつり〜聴る。

ひとしく世界の平和確保の使命といふ條約が直ちに世界の

日米親善にも

（報育特信二十九日）人類の平和史に新紀元を劃した世界的大本が欣然としてこれに參加した誠意はアメリカの當局も深く感動し日本からパリに赴いた全權内田康哉伯は既報のごとく去る二十六日午後入港したスターライン線の巨船ホーメラック號に乘じアメリカの國賓として滯米中の内閣の一行とともに桑港に上陸した。この日國務省よりは特に省の代表を特派するほか首都よりは軍縮會議の代表として海軍大臣ワイルバー氏が代表し、當地總領事内田總領事が新聞記者團の一行とともに乘して全權の一行を出迎へた

桑港牧師會で ハワイ事件を研究

役員の改選と青年大會に對する希望等討議

桑港灣牧師會は去る一日當市に來たる八日ファラゲにおける牧師會の席上において再び研究しそれまでに材料を蒐集することとし役員の改選を行ひ散會した

▲會長　有馬牧師▲書記會計　小田牧師

なほ同夜は近く開催の深田牧師

我が對支政策 列强も諒解

日本の公明なる對策に

「列强政府を訪問して要路と會見した際支那問題について觸れたことは事實である。元來列强の支那に對する立場なるものは勿論我國と異つたものも多いが我國が地理的にも支那との接近の度が深くなつてゐるものは支那に起つよ經濟的支那問題について我國が論議に

北部都市の農産市場を訪ねて（四）

農學士 松本万六

本年當地方は、霜がおそくて比較的暖いので、レタス、セロリ、カリフラワを始め、すべて地方產のものに市場が賑かしてゐる。貨物はすでに出荷著しく減少して品薄となつてゐるので、やがてばならぬ狀態にある。レタスは未だに州外に向つてカーロードは出荷をしてゐるが、値段も良好の方で、エフ、オー、ビー二噸の供給を加州に卸がね

南加版
支社電話〔VU〕ユーナー八四一五

アーケデヤ事件の布氏は無罪放免

幾度かライト藤井氏より抗辯書を出し檢事側も證據不充分として

アーケデヤの布公司氏事件は遂に公判の結果殺犯に有罪となり一年以上十年以下の禁刑を宣告されたが布氏の辯護人たる藤井ライト兩氏は陪審官の判決に服ありとして五日目に判決取消しとなし再審の請願をなし判事はライト氏の主張に理由ありとし再審を宣言したが檢事ケ宣言したが訴訟方より長文の辯論書を提出申請訴訟判事三名は滿場一致でライト氏の勝を宣言したので檢事は更に加州大審院に上告したこれにてもライト氏の辯論が通じ判事は布氏に對し最後の判決を無効とし更に再審の要ありとし布氏は二千五百弗のボンドにて保釋され結局布氏は無罪放免となった

△鎌踏　二日目　七日
△次郎長荒神山血煙　四場
△新派悲劇八瀬の里　一場
△喜劇樣ひさご　一幕

駛走中の自動車の扉から落ち死す

子供持の親達は十二分に注意せねばよくある事だ

ドーチー在住田川氏は數日に前本地方からの手紙一本を直に發ホードをドライブしてそれに子供達を同乘せしめて出發の途中ホエラチャー、ブルバードを十哩位の速力で走りつゝある際突然に飛行機の爆音が聞こへるので子供達は車内から飛行機を立ち止まりつゝ見ていたが一人の男が落下傘を開いて日本橋の上に落下した

遠山一行と大正時報

十五週紀念に二日間劍劇演ず

遠山龍一行はその後北加方面に巡業中大成功を納めてゐる本來は合同劍劇團にて人物を九方面に求めるよりでクリスマス前までは現狀のまゝならんと。

渡邊氏の個展開催

オリヤビヤ市に滯在中の渡邊蕭伯は目下當市に於て個展を開き來る廿日頃から當市に來たので來る廿日頃からオリンピックの四階にて個人展覽會を開催する筈と

「みささ」開店

松の家主人は今回北飯田藤の家を譲り受け「みささ」と改名し十月六日から開店特に御家族料理のお客様を歓迎するとは誠に料理界の一寸はってゐる

あんま瓶詰め

老人は老い同志といふが若い者のなかにも足腰がやまぬともいへぬ東一街木野ドラッグ紙店の「あんまの瓶詰」は廣告の効能書が出てから飛ぶやうに賣れ主人木野氏の腰は一段と延びたと

御大禮

リバサイド　（二日）

モンロビア學園では夏期休暇中に誰れも留守番がないため學園に人影離れてゐる際から何物かが侵入して學園の備品たる何時の間にか消えたのかそれも不明であるが何者か學園内にフラクを引込んで持ち去ったらしくその他をはじめ數多の品が紛失したやうに思はれるのなら弾薬鉛かもメキシカンの仕事ではないかといはれてゐる

奉祝に就て協議

當地日本人會は來る十月六日土曜日午後八時より事務所に於て常議員會を開き來るべき御大禮奉祝に關し協議決定する筈なほ同中央日本人會の獨立記念に參加する寄附金バジの件も同時に協定する由各役員名譽員常議員會員合へ出席されたしと。

愛憎乱麻

（二二三）

九龍島　下村悦夫作

藤井後藤事務所

東一街三五二番
電話VA九七一一

日米支社

羅府北サンピドロ街一一七
電話〔VU〕ユーナー八四一五

日米新聞

羅府北サンピドロ街二〇〇
電話MEトロ二七七

肥後屋ホテル

館主　日本旅館

太平洋印刷所

羅府東一街三四二
電話タッター六〇六〇

大久保齒科醫院

羅府東一街二三三半
Tel. Metro 2482

勸工場

何でもある店
羅府東一街三四七
電話VU二二〇八

第一街グラージ

電話VU二六一八
風早勝一

中筋順

羅府北サンピドロ街二一二
電話TU五五〇七

甲山エキスプレス

羅府ジャクソン街一三五　安原ホテル内
電話タッター（八八）五三〇九

確實迅速

サンピドロ・グラージ

かまぼこ

長本
三一三ヤクソン街
（位置）VA二八二七

今週映畫

市川右太衛門主演

幕末大時代劇高濱常盤　第四編

富士活動常設館

羅府東一街三二四　電話VA五七二一〇

高濱常盤

前週の續き　第四編を上映

乞ふ！見落す勿れ！

桃中軒浪右衛門

日本人支社

太陽光線治療器

有働貞三

純ウール・ブランケット

弊店特約販賣の「ペンドルトン」印純ウールブランケットは品質と色合が良い上に格安なので毎年皆さんから多大の御好評を頂いて居ます。此度製造元から直接に大量を特別値段で仕入れましたから今が絶好の買ひ時です。是非御用命下さい——

六弗七十五仙
十一弗五十仙
十　三　弗
十四弗五十仙
十七弗五十仙
二十弗五十仙
廿四弗五十仙

八弗五十仙
十二弗五十仙
十　四　弗
十五弗五十仙
十八弗五十仙
二十二弗
二十五弗

品よく色よく値の安いブランケット

（半ウール）
四弗五十仙
五　弗
六　弗
七　弗

バスローブ

——ローブ・フランネル製——

特に日本人向のサイズに仕立てたものですから袖を短くすることも要りません。よくフイットします。それに色合も柄行も上品で美しいものばかりを豐富に取揃へてあります。

婦人用……四弗五十仙　六　弗
七　弗　十　弗
紳士用……五　弗　六　弗
八弗五十仙　十一弗
子供用……一弗五十仙　二弗五十仙
三　弗　四弗五十仙

御遠方のた方は
メイル　オーダーを
御利用下さい
——（送料不要）——

東一街の大店 宮尾商店

羅府東一街二〇〇、二〇二、二〇四、二〇三、ウエスター街一〇一、一〇三
電話（バンダイキ）VA九二三〇　（ネーボーケン）ME一七二二　200 E. FIRST ST., L.A.

ガールス用品

◎ワツシ・ドレス
最近着
サイズ色合豐富
一　弗
一弗二十五仙
一弗五十仙
一弗七十五仙

◎スエター
薄手の純ウール製
ロング・スリーブ
三弗五十仙
三弗九十五仙
四弗五十仙

下着（ユニオン）
五十仙
七十五仙
九十仙

四分の三サックス
二十五仙
三十五仙

ミツディーとスカート

品質仕——立派に優良
サイズ……六才—十八才
ミツディー
スカート　一弗七十五仙
二弗七十五仙
三弗七十五仙

ボーイス用品

◎シヤツとブラウス
生地が美しくて丈夫
最新のスタイル
洗濯の利く新柄
念入りの仕立
（クイニー印）
一　弗
一弗廿五仙

◎ロング・パンツ
コードロイ製
サイズ……三—十六
二　弗五十仙
二弗七十五仙
ウール製—新柄
三　弗
三弗七十五仙
四　弗
四弗五十仙
五弗五十仙

◎バス・ローブ
ローブ・クロース製
三　弗
四弗五十仙
ジム・ブルーマー
一　弗
一弗五十仙
ガーター
十五仙
二十五仙

◎學校靴
半靴、茶、白、黑
二弗二十五仙
二　弗五十仙
二弗六十五仙
二弗九十五仙
三弗二十五仙
三弗四十五仙
三弗九十五仙
四弗七十五仙

長短二パンツ附のスーツ
流行のスタイルと色柄
念入りの仕立、サイズいろ〳〵
九　弗　十　一　弗
十二弗七十五仙　十四弗五十仙

◎スエター
薄手の純ウール製
長袖、スリーブオバー
三　弗
三　弗五十仙
四　弗

ランバー
ジヤケット
三　弗五十仙
三弗七十五仙

◎學校靴
半靴、黑、茶
二弗四十五仙
二弗六十五仙
三　弗
三弗二十五仙
三弗四十五仙
三弗八十五仙
四　弗
四弗二十五仙

VA(82)3377 ラッキータキシ

日米人營
122 N. SAN PEDRO ST.

一度御乘り下さい

▲白人のタキシと同値段
▲羅府市内外の觀光には最新式七人乘のキヤドラックで地理に委しい運轉手が御案内申上げます
▲サンピドロ出入港の船へは當所より乘合自動車を出します
▲各地へ旅行に便利なピクイツ
ステージの代理を致します
▲ピクニック用大型十五人乘より大十人乘まで大會就き特約してありますから大勢御乘致します

羅府北サンピドロ街一一二二

ラッキー タキシ

フレスノ（二日）

各團體の代表者が奉祝會の協議

餘興に關する第一會合

既報の通り布日會主催にかかる御大典奉祝に關し昨夜各團體の集まりが布日會々議室で行はれたが出席代表者は

廣島縣人會　長谷川角藏▲岡山縣人會　江本久次　片山壽太郎▲和歌山縣人會　山本孝夫▲布佛婦人會　藤井龍智　村上七郎兩夫人▲美以婦人會　大工廻夫人▲布佛青邁見梅一▲組合教會　福島牧師夫人▲布仏會青年會　坂本節吾▲角力協會　長岡重彦▲演藝クラブ　松本弘盤▲　西田　眞　兩夫人▲市內常議員　野津　富田　木村　ます田　濱本　齊藤　村上▲布日會　小澤　掛部

諸氏諸婦人でいろ〜協議の結果

一　前記各團體のうち一二は協議の上餘興出しものを取きめる筈だが他は皆餘興を出演すること

一　以上の團體より奉祝に關する委員を選出することなる申し合せて散會したこと

ことただし第一式は同盟會主となり青年會と協力し第二式は青年會を主とし同盟會これに參加し別に劇一幕を上演する

第二式委員として酒井一師に作成を希ひこれを原案とし評議員會に附議し人選その他を決定すること

第二式委員として廣瀬一（委員長）川野吾八　廣重　味岡榮之助　岡邦春諸氏を挙ぐ

青年會は聯合協議會を開き協調すること一幹部一仔演藝ならびに武場裝飾を

一　月幸平氏に依頼しホール飾を矢野秀太郎　野坂英作兩氏に依頼すること

▲青年會臨時總會　デレノ青年會では七日（日曜）午後七時より日本人ホールにて臨時總會を開き左の事項を協議すること

一　御大典祝賀の件

一　佛教婦人會　デレノ青年會は七日（日曜）午後七時より日本人ホールにて臨時總會を開き左の事項を協議すること

一　御大典祝賀の件

一　佛教婦人會　デレノ青年會は七日（日曜）午後七時より日本人ホールにて臨時總會を開き左の事項を協議すること

一　御大典祝賀の件

一　會計監査役及選動部長補欠の件

一　演藝會に參加の件

一　會計監査役及選動部長補欠の件

▲デレノ青年會は七日（日曜）午後七時より日本人ホールにて臨時總會を開き左の事項を協議すること

一　御大典祝賀の件

一　佛教婦人會　

サクラメント（三日）

耕作者第一主義で 加州物産商會生る

農産物販賣取扱ひ 資金の融通もする

元加州農耕社支配人たりし岩鍋雄氏は、さきに同社を退社すること一週時に在シカゴの相互物産商會と聯絡をはかり現在サクラメント地方においてやく二百エーカの唱村千代子嬢の媒酌にて、大人の諧曲、武田正夫氏や小園氏の盛行歌なども、ひ盛宴があつたもなみに大島氏一家はきたる六日の夕刻河船で出発する

なる名称のもとに主に野菜および果物のカーロード市場における各種農産物の委托販賣業に従事することゝなれりと、なほ同商會はグローアー第一主義をとり各市場のレポートは毎日出荷者に報告し、さこまで耕作者の利益のために奮闘する方針にて必要に應じては耕作者に相當の資金の融通をも講ずるよしである

美容術講習と化粧講話

南川ゆきの途次各地方においてする

富市の大山化粧品製造所主人は近日中南加方面に自動車で商用旅行するが、その途各次地方において、ゆく〜化粧の講話をするよしとある同主人の主張に、よるとの有効面胞に化粧品使用の化粧的智識を鼓吹するのであると

▲ルル粧革▲化粧▲人間の本性▲現代の化粧術▲化粧品にたいする一般的智識▲および業務▲白鉛、含鉛白、粉および純無鉛白粉の鑑別▲實物教示▲石鹸の良否鑑定▲實地試験（各自愛用の石鹸持参をのぞむ）▲鑑魔化しもの注意▲白色内服薬▲白髪液▲毛こりクリーム▲毛生

その、ソバカスとりクリームの類▲美容と健康および皮膚人間の皮膚、人工的に白くなるやいなやその實驗、太陽紫外線と皮膚の關係および科學的實驗▲美容と健康▲皮膚の手入れ▲白粉の正しい使ひ方▲化粧法二種を實演しならびに素人むき簡單なるマーセリンの實習をするそふだ

大島彌市氏留別會

オークパークの大島彌市氏は郷里の函館からかく御大典の恩澤によくすべく家族同伴きたる十月十日のコレヤ丸で歸國するので、昨二日の午後七時より當市エムゴ御のセンター チャプスイで留別會をもよふしたが、合息令嬢なきの日系市民もあはせかふ百名にちかき來客であつた。川鐵次氏司會しまつ大島氏の挨拶あり、力丸吉、三木雄造、竹田雪城、土方撥一諸氏は老人がはを代表して送辭をのべ大

桑本翁出發期

きたる十月十日のコレヤ丸で歸國する當市安藤商の桑本孫三郎翁は多分きたる六日夕刻の河船で出発するであらふと同翁は老體かつ健康上に留意すべき必要あり、各方面の送別宴を辭退して退しているが、それ〜紀念品を感謝状をおくり同翁の從來の功績を表彰するよしである

中島翁 州監獄を視察す

滯櫻中なる中島藏之翁は國際監獄視察のためクラフツ氏の紹介状をもつて、昨二日井芹改造氏と蛇●目ホテル主人、關本文吉氏同伴し、實地試驗（各自愛用の石鹸持参をのぞむ）▲鑑魔化しもの注意▲白色内服薬▲白髪液▲毛生

そのソバカスとりクリームの類▲美容と健康および皮膚人間の皮膚、人工的に白くなるやいなやその實驗、太陽紫外線と皮膚の關係および科學的實驗▲美容と健康▲皮膚の手入れ▲白粉の正しい使ひ方▲化粧法二種を實演しならびに素人むき簡單なるマーセリンの實習をするそふだ

大島彌市氏留別會

オークパークの大島彌市氏は郷里の函館からかく御大典の恩澤によくすべく家族同伴きたる十月十日のコレヤ丸で歸國するので、昨二日の午後七時より當市エムゴ御のセンター チャプスイで留別會をもよふしたが、合息令嬢なきの日系市民もあはせかふ百名にちかき來客であつた。川鐵次氏司會しまつ大島氏の挨拶あり、力丸吉、三木雄造、竹田雪城、土方撥一諸氏は老人がはを代表して送辭をのべ大

自動車衝突

ローダイの津村林太郎氏に子ども五人さることに西ローダイにゆく途中、バイン街およびチャーチ街のかどにて白人のヲラフカーと衝突し、同乗の子どもジョーゼ四郎の二人は顔面に打撲傷をこうむりたるも、幸に輕傷なりきき自動車は前部形なきまでに損害をかうむりたり、白人のヲラフカーは少々の損害なるよし

又々自動車事故

きたる十月十日の土曜日午後七時ごろ、當市エムゴ御のみかど洋食店前、電柱市内エム御のみかど洋食店前、電柱市内エム御のみかど洋食店前、電柱市内エム

A Newspaper For All Peoples Interested In The Welfare of Japan And the Japanese People

The Japanese American News

THE LARGEST JAPANESE NEWSPAPER PUBLISHED OUTSIDE OF JAPAN

The largest English Section Published Daily by Any Japanese Paper On This Continent

NUMBER 10394 | Entered at the San Francisco Post Office as Second Class Matter. | SAN FRANCISCO, CALIF., THURSDAY, OCTOBER 4, 1928. | Per Month $ 1.00 Per Year $11.00

Copyright 1928 By The Japanese American News

BOY SLAYER UNDER TRIAL IN HONOLULU

Fukunaga Is Fond Of Books On Science, Philosophy

TOKYO, Oct. 2.—(Special)—Trial of Yutaka Myles Fukunaga, who confessed to the murder of Gil Jamieson, ten year old son of a prominent Honolulu banker, began today in the Territorial courts.

Gil Jamieson was the victim of an extortion plot in which he was kidnaped and later slained. The crime caused an unprecedented stir in Hawaii, where the whole Territorial police force was enlisted to run down the kidnaper. Fukunaga, charged with the crime, is a Japanese youth.

HONOLULU, Oct. 3—Myles Yutaka Fukunaga, the confessed murderer of 10-year-old Gill Jamieson, was born at Makaweli, Kauai, on Feb. 4, 1909. He was a resident of Kapaa, also, of Kauai, until 1923 when he came to this Island with his family, living at Takeyama camp, Haleiwa, for eight months.

While at Haleiwa he attended the Waialua grammar school and the Taisho Japanese school. He was not much of a scholar at the Japanese school but at the public school he was brilliant and graduated in 1925 at the head of the class, according to his parents.

After graduating from the Waialua public school he wanted to continue his education at high school but his parents could not afford to let him do so.

MOVED TO TOWN

The family then moved to Honolulu and Myles obtained work at the Queen's Hospital and while engaged in his work he took up cor correspondece course from a mainland school.

According to his close friends, a "white man" took him out of the Queen's Hospital when he secured promotion to the office and asked him to work for him as a bookkeeper, and he accepted the new job because he had always had an absorbing interest in bookkeeping. After working for a week, however, he left his new employment.

In June of this year he secured employment as a waiter at the Seaside Hotel. At this time, according to his parents, he began to express a desire of going to commercial school and the parents consented to let him save his salaries so that he may fulfill his educational ambition. But soon after he abandoned his commercial school plans.

His parents say that he was a very quiet and silent boy and that he was extremely fond of reading. Throughout his childhood he never played much with other boys.

Among the possessions of Myles Yutaka Fukunaga was a neatly-kept scrap book containing a typewritten copy of "What Books Can Do For You," by Jesse Lee Bennet. It is interesting to note that on this copy was a list of books on wide variety of subjects, including evolution, mathematics, astronmy, science, geology, geography, physics, chemistry, biology, anthropology, psychology and practical science and invention.

On the last page of the typewritten list were the following books:

Philisophy—History of Philosophy, by F. Thilly; The Modern Symposium, by G. L. Dickinson, and The Faith of a Free Man, by B. Russell.

Religion—The Idea of God, by John Fiske; Evolution of the Idea of God, by G. Allen; God the Known and the Unknown, by S. Butler; Ten Great Religions, by J. F. Clark, and the Bible.

Sociology—Problems of a New World, by J. A. Hobson; Principle of Sociology, by E. A. Ross; Law—Origin, Growth, Function, by J. C. Carter, and On Liberty, by J. S. Mill.

Nippon School Children Send Art Works and Drawings To England To Promote International Friendship

LONDON—A set of reproductions of "cordial paintings" done by Japanese school children for "the dear Young Ladies and Gentlemen" of other lands has recently been circulated through the schools here together with a message of friendship from the donors of the paintings. Similar paintings and messages have been sent to the school children of a number of other countries.

The "message" runs in part as follows:

"Young Ladies and Gentlemen of of the United Kingdom of Great Britain and Ireland:

"We, the school children of Japan have the honor to send these cordial paintings to the dear young ladies and gentlemen in your country. We are glad to say that the painting is an international language and that we have no better means than painting to interpret our thoughts and feelings. We also earnestly wish to have the privilege of viewing your paintings and drawings. So if you will kindly send us specimens of same, we will be greatly delighted. And if you will kindly forward them to us, will you please address them to Dr. Masataro Sawayanagi, care of Japanese Embassy, Legation or Consulate in your country, and then after favorable acceptance we will gladly show them in the splendid Memorial Exhibition and afterward we will carefully circulate them in schools of this country through our agencies.

"We are in zealous expectation of the acceptance of your respectful greeting and we believe firmly that we have renewed friendship by them.

"Many thanks to you.

"Yours faithfully,

"Young Brethren in the Land of the Cherry-Blossom."

GIRL WINS ART PRIZE

Miss Nishida Given Honor In Poster Contest

Miss Michi Nishida, prominent member of the Cheskchamay Japanese Camp Fire group, is today receiving congratulations from her friends for having won first prize in the recent city-wide poster contest sponsored by the San Francisco Camp Fire organization.

Miss Nishida's poster, which was selected for the first place out of hundreds submitted by the different groups of the city, was given much praise from the judges. She received the regulation middy suit of the Camp Fire organization for her prize.

The Camp Fire girls are sponsoring a theatre party Friday night to the President to see "Daddies", a hilarious and wholesome comedy of American life, starring Robert McWade, who gained such popularity in this city by his inimitable characterization of the gruffy but lovable father in "New Brooms". Those desiring to attend the performance Friday night should obtain tickets from the Camp Fire girls, who have exclusive charge of tickets for that evening. Japanese fans may obtain the tickets by communicating with Miss Emily Sano, guardian of the Japanese Camp Fire group, 1765 Sutter street, or with any other member of the Cheskchamays.

OUR JUNIOR SECTION

TODAY'S NEW MEMBER

Shizuyo Kono, Rt. 1, Box 54, Rio Linda, Calif., age 11, birthday November 25.

—Junior—

Shizuyo, our newest member, writes in to tell us that she found one of her dearest friends in the club who urged her to join; so she promptly responded. She says:

—Junior—

I would like the sweet pea, rose, and morning glory for our club flowers. Please tell the other members to write to me.

—Junior—

We're very glad to have your in our family of Junior Club, Shizuyo. Write us some jokes next time.

—Junior—

Yoshi Dorothy Kato of Almo sends us a clever joke:

Teacher: How did you stand in your class last term, Jim?

Jim: In the corner sometimes.

—Junior—

Here are some of Dorothy's riddles:

—Junior—

When is a cupful of coffee very sad? Ans.: When it is upset.

When is that which touches one but unites two? Ans.: A wedding ring.

What is the best ship on the ocean? Ans.: Seamenship.

Training School Graduates Given Religious Work

Miss Edith Tsuruda of Mountain View, a graduate of the Training School, has been appointed at the recent Methodist Conference as religious worker among the Japanese young people of the San Francisco area. Miss Yuki Kuwahara of Cortez, another Training school graduate, will be engaged by the San Francisco Japanese M. E. Church. The other Japanese member of the graduating class, Miss Dorothy Funabiki of Mountain View, will continue her training at the College of Pacific in Stockton.

KABUKI WINS POPULARITY IN MOSCOW

Classical Drama Of Nippon Given Praise

MOSCOW—The Japanese Theater Kabuki's three-week cycle of productions has been the outstanding event of the summer theater season in Moscow. Tickets for the Japanese plays were at a premium throughout their stay in the city.

The kakubi plays and ballets were steeped in the atmosphere of medieval Japanese chivalry and legend: one saw fairies and monks and Samurai, ready to go to any lengths to defend their codes of honor, to protect and avenge the feudal lord to whom they had sworn allegiance.

But if the plays of the Kakubi were nationally Japanese in character, the high quality of their acting and general stage technicque possessed an international appeal and won the hearty commendation of Russian critics. The Japanese troupe, headed by Mr. Itikaya Sanadzi, fully understood the classical art of emotion with the minimum of outward gesticulation and declamation. Very often the face alone was brought into play in a moment of tense and absorbing interest. Sometimes only part of the face was required to produce a desired effect: the eyes for instance, or the mouth.

The modernist Russian producer, Meierhold, trains his actors in athletics so that they may be able to express all the emotions through tumbling sommersaults and other physical gyrations. The Japanese wear kimonos, which alone would be an insuperable barrier to some of the antics of Meierhold's actors. And yet these very kimonos skillfully worn, often conveyed emotions, one did not need to be a Japanese linguist to understand the hints of anger when one of the Samurai threw back his robe with his heel.

As on the Elizabethan stage, the women's parts in the Kakubi plays were rendered by men. One or two actors, sitting in a compartment off the stage, played something of the role of a Greek chorus, often chanting songs on the stage confined themselves to the pantomine in which they proved singularly eloquent. Kakubi and the modern Russian theaters was the trick of making actors go off the stage directly into the audience, instead of retiring behind the scenes. The effect in each case was the same to bring the players closer to the spectators.

The Kabuki programs include a number of ballets, and here again one recognized many distinctive and striking effects. Whereas the Russian and European ballet dancer usually requires wide space for extraordinary skill in giving varied movement, the Japanese displayd dances almost without moving from a single spot.

The rich exotic castumes of the Japanese players doubtless enhanced the attraction or their performances. The stage decorations were conventional and gave the impression of haveing been hastily prepared, but this did not seriously affect the general harmony of the ensemble.

Showa Boys Plan Annual Football Rally Fri. Night

Inviting all Japanese football players of the Bay district, the local Showa Athletic Club will hold its big annual football rally Friday night at the auditorium of the San Francisco Japanese Association on Laguna Street. Open invitation is also extended to anyone interested in football.

Brick Marcus, who piloted the Showa boys through an undefeated season last year will address the boys.

The board of directors of the Showa Club recently appointed a special committee to look after the new uniforms for the younger boys who wish to obtain insructions in football fundamentals and play on the lightweight team. Showa came out without a casualty last season due to a careful training on a proper field. Realizing the impirtance of good instructors and adequate ground, the board is making special arangements to acquire the use of a suitable training field. The club is also negotiating for the services of Cahil from Seattle and Marcus to coach the players.

The rally and registration will start at 7:15 o'clock.

The first practice of the 1928-29 season will be held Sunday afternoon for both the first and second teams.

SOLON HITS OPPOSITION

Seiyukai's Policy In China Flayed By Shidehara

TOKYO, Oct. 2.—That the "Shidehara Diplamocy" in China was by no means a weak diplomacy, and that the "Tanaka Diplomacy" is a diplomacy of petty tricks unworthy of true statesmanship, was the gist of the remarks made by Baron Kijuro Shidehara, former Foreign Minister of the Wakatsuki Ministry, at a luncheon given in his honour by the Japan China Business Men's Asociation at the Osaka Club on September 17. His address was briefly as follows:

"It is the duty of the Ministry in office to report to the people regarding foreign affairs conducted by the Government representing the nation. When I was Foreign Minister, I made a detailed report of the progress of the diplomacy with China, which is an issue today as it was before, at the 52nd session of the Diet. I made a clear statement as to the progress and policy of the Government regarding the non-interference in the domestic affairs of China and the protection of the special privileges of Japan in that country.

"I regret very much, indeed, that Foreign Minister Tanaka has not yet made any definite statement of his policy in China, although he announced his intention of adopting a progressive policy in China. At the beginning when the Sino-Japanese relations had become complicated, the Tanaka Ministry announced at home and abroad that it would not by any means confonnd the interference in the domestic affairs of China with the protection of the special privileges of Japan in that country.

ent "What is the result of the diplomatic dealings of the present Ministry in China so far? Was the advertised aim attained? What good has it done to promote the friendship between the two countries? As a matter of fact, what has been done by the present Ministry has usually failed to produce any good result. All that the Ministry has done in the way of public announcement, has been to declare that the policy of non-interference in the domestic affairs of China could not go hand-in-hand with the policy of protection of the special privileges of Japan in China, in order to cover up the sins committed by the Ministry. It is a shame.

"The policy of noninterference in the domestic affairs of China should by all means go hand-in-hand with the policy of protection of the special privileges of Japan in that country. Nay, it is art of diplomacy to make an effort to see that the two go hand-in-hand.

"The diplomatic policy I adopted toward China has been critized in some quarters as a backward policy. On the contrary, I do not hesitate to declare that my policy was a very forward one for the purpose of protecting Japan's special privileges."

YMBA GRID TEAM DOWNS CHRISTIANS

Templars Win From Stockton Pirates By 12 to 6

STOCKTON, Oct. 3.—(Special)—In the first game of the season played by either team, the Stockton Y. M. B. A. defeated the Pirates yesterday afternoon at the Stockton High School campus by the score of 12 to 6.

The game was a very exciting one as the two teams were evenly matched. The Pirates had a slight advantage over the Templars in their experience, but the wonderful cooperation on the side of the Y. M. B. A. made it possible to win the game.

The Pirates were outplayed by the Buddhist boys considerably in the first quarter. Frank Mirikitani did most of the advancing for the Templars, breaking away frequently for substantial gains.

The first touchdown was registered in the first quarter as a result from a long unaided run of forty-five yards by Frank Mirikitani.

The Pirates made a good sustained advance during the second quarter. Uzo Nakashima, stellar half back, and George Kawaguchi, full back, by a short, well sustained gains took the ball over the goal for their only touchdown. The score stood 6-6 tie at the end of the first half.

The last touchdown for the Buddhist boys was registered in the last few minutes of the play in the fourth quarter. Frank Mirikitani, under the effective interferences by "Bishop" Nakahara and Fred Ito, made a spectacular forty-five yards run for a touchdown.

More than 200 witnessed this interesting contest.

The following was the line-up:

Y. M. B. A.

O. Itaya, Nakahara	Ends
Bill Uyeda, J. Akaba	Tackles
T. Itaya, Ed. Ito	Guards
George Kitahara	Center
Fred Ito	Quarter
H. Tanabe, L. Fukushima	Half
Frank Mirikitani	Full

PIRATES

J. Fujita, S. Tomita	Ends
J. Kanemura, Kanemura	Tackles
Abe, Nakashima	Guards
Tomita	Center
Ohashi	Quarter
Isobe, U. Nakashima	Half
George Kawaguchi	Full

BRILLIANT RECEPTION AT FAIRMONT TO MARK ARRIVAL OF AMBASSADOR K. DEBUCHI

Japan's New Envoy To United States Will Arrive Here October 12; 2000 Guests Invited To Consul General's Fete

One of the most brilliant social functions of recent time in San Francisco will take place in the afternoon of October 12 when some fifteen hundred guests will attend the reception to be given by Morikazu Ida, local Japanese consul general, in honor of Katsuji Debuchi, newly appointed Japanese Ambassador to the United States, who will arrive in this port on the morning of the same day aboard the Shinyo Maru.

One of Japan's ablest diplomats and statesmen, Ambassador Debuchi is coming to fill the post vacated by Ambassador Tsuneo Matsudaira, who is now in Japan on a furlough and who will leave shortly for Great Britain as Japan's envoy at the court of St. James.

Ambassador Debuchi will be accompanied by Mrs. Debuchi on his mission of good will. The reception will be held at the Fairmont Hotel, one of San Francisco's most fashionable hostelries, and the guests will include Mayor Rolph and leading citizens of the Bay section.

Consul General Ida has already sent out about two thousand invitations to the officials of State Legislature, Mayor of San Francisco, the Commanders of the Navy and the Army, educationalists, religionists, prominent business men, consuls of different countries, newspaper men, officers of women's organizations and other prominent Americans and their families.

Katsuji Debuchi, newly appointed Japanese Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary to the United States of America, is considered one of the most prominent diplomats of Japan. He was born in 1878 in Tokyo. Soon after his graduation from the Tokyo University of Commerce he joined the Foreign Office, in Tokyo. Then for many years he served as secretary with the Japanese Legation in China and the countries of Europe and America.

In 1918 he came to America. Immediately after the Great War, he became Acting Ambassador at Washington and fostered friendly relations between America and Japan. In 1920 he was sent to Britain, where he served as Acting Ambassador there to restore the diplomatic relations between Germany and Japan following the Great War. In 1921 he attended the Washington Conference as a chief secretary to the Japanese delegation and contributed his share to the success of that memorable naval parley.

In 1924, he became Vice-Minister for Foreign Affairs, after fulfilling his duty as the head of the Bureau of Asiatic Affairs in the Department of Foreign Affairs.

Aside from having held important posts in China, Europe and America for a considerable length of time, the new Ambassador attended the second general meeting of the League of Nations as the Chief Secretary to the Japanese delegation.

Because of his vast experiences in diplomatic circles of many nations and his grasp of international problems, the new Japanese ambassador is hailed by observers as a man eminently suited for the great task of strengthening the bonds between this country and Nippon. Veteran writers of Japan characterize him as "the right man in the right place."

Lindy Supports Herbert Hoover For President

WASHINGTON, Oct. 3.—(UP)—Col. Charles A. Lindbergh, the flying ace, today wired Herbert Hoover he would suport the Republican presidential ticket in the November elections.

Lindbergh said he belived the election of Hoover was of supreme importance to the nation.

His telegram follows:

"I have recently flown to St. Louis to register. The more I see of this campaign the more strongly I feel that your election is of supreme importance to the country."

L. A. SOCIETY IN CAMPAIGN

Student Club Starts Drive For New Members

LOS ANGELES, Oct. 3.—(Special) The newly organized Japanese Student club of the University of Southern California launched a membership campaign Monday under the direction of Harry Kagiwada. Special committees have been appointed from the four diffent colleges of the University and the alumni, to canvass for membership. Climaxing the drive will be a Frosh reception at the International Institute on Friday evening, Oct. 12.

The committee is composed of the following:

Saburo Muraoka, Shigeru Hashii, H. Konishi, Fred Iwamizu, Mori Hayashi, Grace Muraoka, Paul Kanow, Victor Makino, Frank Minato, Clarence Yamagata, Kabashima.

JAPANESE FIREFLIES

Its Hold On Popular Imagination

By SARUSASHI

Among the various traits that characterise the Japanese is their undoubted love of Nature, and too much stress cannot be laid on this point. The practices of old, the legends and stories of the country, the folk-songs and national dances—these all breathe an innate and deeply-fostered veneration, almost amounting to adoration, for rugged stones, a mass-lined rustic bridge or a little brook. The average garden of the well-to-do Japanese laid out to embrace all the aspects of Nature as far as human skill and imitation can do, is eloquent proof of this; and when one can't afford to have a big plot of ground and fashion the imitations of waterfalls, of mountain ranges and of pine forests, this is done so tiny a scale, whereby the one less blessed with the earthly goods of this life still can take just as much pleasure from his neatly-laid out twelve-by-twelve backyard as a rich person can derive from laboriously-laid out gardens in his majestic mansion.

To the Japanese mind that still lives in the past, no Paradise of the fostered that, in this love of Nature as seen in these islands, there has also been inextricably interwoven a love of country, and thus the seeds deeper through legends and beliefs that can give souls to butterflies, to chirping birds, to green pines, to smiling flowers.

AESTHETIC PLEASURES

Of the aesthetic pleasures that appeal very greatly to the Japanese, flower-viewing (hana-mi) and moon-viewing (tsuki-mi) perhaps stand out above all others, though snow viewing also ranks high. At this season of the year, young and old take an immense delight in hunting the firefly, watching it spread its jewelled light on the green of the bushes watching it scintillate in the womb of night following its dazzling journey from twig to twig as it scatters diamond like jewels of star-light. Everyone takes a pleasure in this sight; cares are forgotten and the hearts of old become as those of little children, for that, after all, is the attitude one must take if the glamor and magic of poetry is to sink deep into the heart and the sweetest joys thereof be extracted.

Uji is noted as the place to see the Firefly Battle or Hotaru Kassen. Here the summer nights are densely dark and from the river bank there dart forth myriads of these insects, flitting hither and thither, flashing to and fro in picturesque ensemble, the whole picture suggesting that the stars have come down from the firmament and are disporting amongst the objects of this earth. Sometimes, the gathering of hotaru is so dense that it seems as though a luminous mass of glittering quicksilver was being dragged to and fro; while the bosom of the river and the bushes on the bank become irridescent as though adorned with myriads of sparkling jewels.

This fascinating scene yet to be seen in Uji has been made the basis of a legend and the opposing hosts of fireflies that are believed to be doing battle on the banks of the river at Uji are set down in story and legend as being the spirits of the Minamoto and Taira clans. On the 20th day of the fourth month, the fierce battles of these two hostile clans are believed to be fought on earth again by these firefly ghosts, and on that evening all caged fireflies are set free so that they may go and do their proper duty. Beautiful, fireflies certainly are, but they also have a ghostly significance and their desire to glitter only amongst the branches of trees in a gloomy nook and lend a further note of significance to this alleged ghostliness. If the Festival of the Dead, which could only have originated amongst a people to whom the beautiful is the mainstay and joy of life, could take it for granted that the dead, far from being completely annihilated, do return to earth occasionally, one can just as well understand the tender significance of investing the fast-flying fire-fly with a soul and making it the incarnation of a former warrior.

(To be continued)

Keio and Waseda Win In Varsity League of Tokyo

TOKYO, Oct. 2.—(Special)—Keio University baseball team defeated Rikkyo by 3 to 2 score today in the Tokyo intercollegiate league series. Waseda defeated the Imperial University boys by 5 to 1.

肥料とムシ薬

桑港

犬飼商會

K. Inukai Company

153 Fifth St., San Francisco, Calif.

Phones Garfield 6670
" 6671

CAT TALES

By Pusey